



(写真) マルコ・ルビオ国務長官 X “リアルタイムでベネズエラへの攻撃作戦を見守るトランプ大統領と側近”

Operation Absoluto Resolve

1月2日 午後23時に作戦開始を命令

株式会社ベネインベストメント
松浦 健太郎

1 月3日にトランプ政権が決行したベネズエラへの軍事攻撃は、ベネズエラはもちろん世界中に衝撃を与えた。

1月5日 複数のメディアがこの軍事内容の詳細を時系列的に報じたが、日本で詳細を報じるメディアは少ない。

本稿ではトランプ政権によるベネズエラへの軍事作戦(オペレーション・アブソリュート・レソルブ)の詳細を紹介したい。

トランプ大統領がベネズエラへの軍事攻撃の開始を命じたのは、ベネズエラ時間の1月2日(金曜)23時頃(NY時間で1月2日(金曜)22時頃)。

トランプ大統領の命令を受け、同作戦の指揮を執ったダン・ケイン統合参謀本部議長は、F22、F35、F18など150の戦闘機に加えて、B1爆撃機や遠隔ドローンなどを20の軍事拠点から出発させた。

これら戦闘機はヘリコプターが目標地点(マドゥロ大統領がいる場所)まで安全に移動するためのサポート役で、途中でベネズエラの防空システムを解体・破壊したという。

また、軍用機が軍事施設を攻撃し、ベネズエラ軍が混乱しているうちに、ヘリコプターに乗った特殊部隊がマドゥロ大統領の居宅を襲撃し、マドゥロ大統領を拘束する計画だった。

なお、ベネズエラの対応能力を低下させるため、事前にサイバー攻撃を行っていたようだ。

- ・ラグアイラ港湾(下写真①)
- ・ラカルロタ空軍基地(下写真②)
- ・フェルティウナ(国内最大の軍事施設)(下写真③)
- ・イゲロテ空港ターミナル

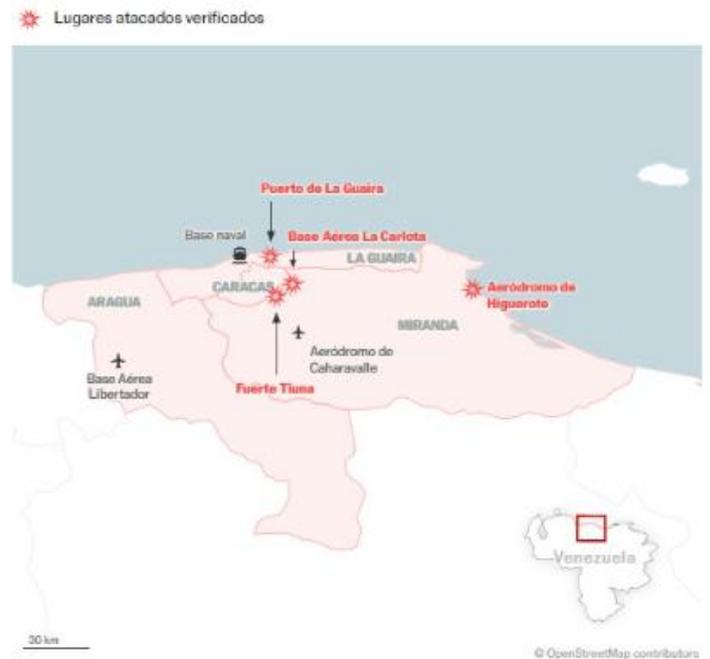
深夜2時頃にカラカスで攻撃開始

カラカス時間、1月3日(土曜)午前1時50分:

ヘリコプター部隊がカラカスのマドゥロ大統領のいる場所に到着。同時に軍事施設などへの爆撃を開始し、ベネズエラ国軍の対応能力を削いだ。攻撃は30分超続いた。

米国軍はどの地域を攻撃したのかは明言していないが、攻撃が確認されている地域は右図の通り。

◆図: 爆撃を受けた地域を示す地図



◆写真: 攻撃を受けた当時の様子



①
Puerto de La Guaira
Foto: Reuters



②
Base Aérea de La Carlota
Foto: AP



③
Fuerte Tiuna
Foto: AFP

また、Vantor の衛星画像を用いて、攻撃を受けた場所の攻撃前と後の画像を比較している。

下はフェルティウナの「歩兵部隊施設」の画像。左が攻撃を受ける前で、右が攻撃を受けた後。

Batallón de Infantería Simón Bolívar



下はフェルティウナの「ティウナ工業団地」の画像。上が攻撃を受ける前で、下は攻撃を受けた後。3つの施設が無くなっているのと、下の施設から白煙が上がっているのが確認できる。



ヘグサス戦争長官は、今回の作戦に動員した全軍人の数は明らかにしなかったが、「トップレベルの軍人約200人をカラカスに派兵した」と説明している。

米軍の攻撃対象が軍事施設であったことは間違いのないと思うが、民間人の居住地域でも爆発が起きていることは映像で確認されており、必ずしも軍事施設のみをピンポイントで攻撃できたわけではなかったようだ。

一例だが、「[このウェブサイト](#)」では、カラカスの民家にある防犯カメラの映像が確認できる。近くで爆発が起き、激しい爆発音が鳴り響いている様子が確認できる（かなり衝撃的な映像なので気になる人はご覧いただきたい）。

なお、CNNは「マドゥロ大統領とフローレス夫人は寝室から引きずり出された」と報じているが、米国当局はマドゥロ大統領とフローレス夫人を拘束した正確な場所については明らかにしていない。

ただし、トランプ大統領は、「マドゥロ大統領と夫人が、鋼鉄で補強された安全な場所に避難する前に自宅にて拘束した」と説明しており、2人は居宅で拘束されたと思われる。

攻撃開始から約2時間半後には軍艦到着

カラカス時間、1月3日(土曜)午前4時半ごろ：

ダン・ケイン統合参謀本部議長によると、ヘリコプターは、マドゥロ大統領およびフローレス夫人を乗せて海上を移動。

そして、4時29分にヘリコプターは米国軍艦 Iwo Jima に降り立ち、軍艦はキューバにある米軍のグアンタナモ基地に向かって移動を開始した。



カラカス時間、1月3日(土曜)5時20分頃:

トランプ大統領は自身の SNS にて「マドゥロ大統領とフローレス夫人を拘束し、米国へ移送する」とメッセージを投稿。

カラカス時間、1月3日(土曜)18時25分:

マドゥロ大統領とフローレス夫人は、グアンタナモ基地から政府専用機に乗せられ、米国ニューヨーク近くにある Stewart 軍事基地に到着(米国ニューヨーク時間、同日19時頃)。

つまり、トランプ大統領が作戦(オペレーション・アブソリュート・レゾルブ)の開始を命じてから、5時間半後にはマドゥロ大統領とフローレス夫人は米国軍艦内にいたことになる。

また、米国に移送するまでの全ての工程が24時間以内に完了したことになる。

ベネズエラ側の死者は80名超か

トランプ大統領は、記者会見にて「米軍の実行部隊に負傷者は出たが、死者は出なかった」と説明している。

ただし、ベネズエラ側は多数の死者が出ており、1月4日の時点で New York Times は「民間人を含めて少なくとも80人の死者が出た」と報じている。

なお、ベネズエラ政府は死者数や負傷者数など具体的な被害情報を発表していないが、「民間人を含めて死者出た」とは発表しており、「電力施設が破壊され、一部地域では停電が起きている」と説明している。



(写真) Alberto News

以上